教員名と研究室名

教授　首藤　文洋 / 情動感性生理学研究室

主な研究内容と目指す将来像

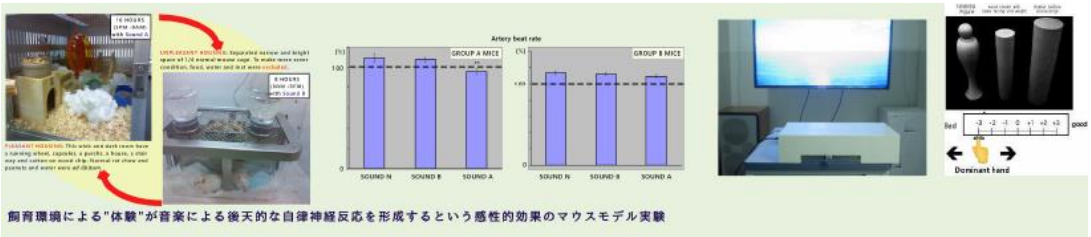
情動感性生理学研究室ではヒトのこころに関した基礎研究や人体の解剖学的・生理学的特性を考慮したヒューマン側インターフェース作りのための基礎研究をしています。そのため必要に応じ、被験者協力実験や生体現象の深部機構を探るためのモデル動物実験をしています。

研究キーワード

システム神経科学、感性生理学、感性情報学、解剖学・生理学全般

研究の魅力・面白さ

〇こころとからだに関する基礎医学を基盤に、生命科学の立場から…
①**「こころ」の感性工学**　～生理学を基題とした様々な計測法を考えて情動の可視化と定量化を試みています。
②**「こころ」の神経科学**　～小規模ながら形態分析から生化学分析までの多角的実験で感性の生理機構を分析しています。
◎これらの解析を通して「安らぎ」・「嬉しみ」・「萌え」など「こころ」が感じる快い現象の生物学的意義とその社会的応用を考えています。



飼育環境による"体験"が音楽による後天的な自律神経反応を形成するという感性的効果のマウスモデル実験

履修しておきたい推奨科目

特になし

研究室配属希望者へのメッセージ

技術の発展が目まぐるしく進む一方で、脳の機構を含むヒトのからだのしくみは先史時代からほとんど進化していません。人間の環境適応学習能力は本当に凄いです。でもムリの継続は心身を蝕みます。皆様が作る未来が「こころ」に寄添う技術の時代であらんことを願っています。

連絡先

fshutoh@maebashi-it.ac.jp